

銘柄紹介

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)

更新: 11時0分

株式会社フィスコ

大手コンタクトレンズメーカー

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★★
想定仮条件レンジ	1550円～1800円
予想PER	15.3倍(連)～17.8倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1500円～3000円
予想PER	14.8倍(連)～29.7倍(連)

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	6月8日
ブックビルディング期間	6月10日～6月16日
公開価格決定	6月17日
申込期間	6月18日～6月23日
払込日	6月24日
上場日	6月25日

類似会社 3社

平均PER	28.0倍	→	2,831円
ロート製薬<4527>	23.3倍(連)	→	2,356円
HOYA<7741>	21.5倍(連)	→	2,174円
シード<7743>	39.1倍(連)	→	3,953円

(PERは6月5日終値の会社側予想ベース)

コンタクトレンズ等の製造販売を手掛ける。業界初の定額制会員システム「メルスプラン (Menicon Eye Life Support Plan)」を導入し、111万人の会員を有している点が大きな特徴と言える。直営店を含む全国1,667のコンタクトレンズ店でサービスが実施されている。

今年初の東証1部直接上場案件となる見込みだが、2014年の東証1部上場案件10社の公開価格に対する初値騰落率は平均-1.8%で、5社が公開価格割れ、3社が同値という結果となっている。ただ、東証1部上場案件は上場後の値動きが堅調な銘柄も多い。

公開規模については50億円弱となる見込みで大型に位置付けられる。ファンデリー<3137>、富士ダイス<6167>といった企業が同日上場するなかで同社に初値買いは向かいにくいだろう。



新規公開株レポート



銘柄紹介

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)
更新: 11時0分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2011/3	37,912	—	2,886	—	2,666	—
2012/3	37,947	0.1%	2,741	-5.0%	1,405	-47.3%
2013/3	40,598	7.0%	2,872	4.8%	1,322	-5.9%
2014/3	42,416	4.5%	2,651	-7.7%	1,658	25.4%
2015/3 見	-	-	-	-	-	-

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2013/3	57,933	—	2,887	—	925	—
2014/3	62,209	7.4%	2,550	-11.7%	1,010	9.2%
2015/3 見	63,131	1.5%	2,822	10.6%	1,431	41.5%
2016/3 予	65,877	4.3%	3,175	12.5%	1,804	26.1%
予想 EPS/配当	単独: -円 連結: 101.10円(上場時発行済株式数で試算)/30.00円					

業績コメント

2015年3月期の連結業績は、売上高が前期比1.5%増の631.3億円、経常利益が同10.6%増の28.2億円と増収増益で着地したとみられる。

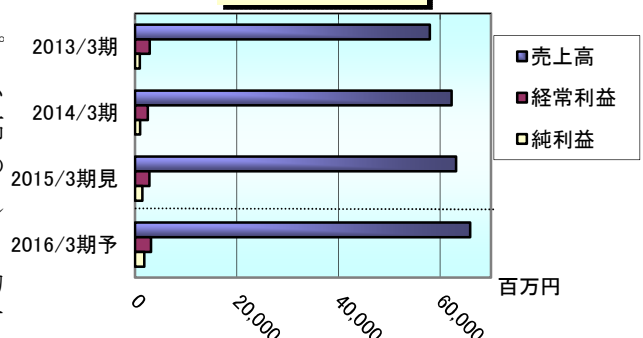
足元のコンタクトレンズ市場は、消費増税の影響こそ受けたものの、緩やかな回復傾向にある。また、乱視用のコンタクトレンズや瞳の色を変えるカラーコンタクトレンズ、瞳を大きく見せるサークルレンズがコンタクトレンズユーザーに浸透するなど、さらなる市場の拡大も認められる。

このような環境のなかで、同社グループは、事業の根幹である会員制定額システム「メルスプラン」において、近年需要が高まっている使い捨てコンタクトレンズの利用会員増加に焦点を当てて施策を講じている。海外事業においては、海外向けオリジナルブランド「Miru」製品の拡販に尽力している。具体的には、アメリカにおいて

地域に密着した販売活動の強化を目指し、営業担当者を増員し、アジア圏では新規代理店と販売契約を締結するなど、今後の海外における販路を着実に拡大しつつある。

なお、2016年3月期の業績予想は、売上高が前期比4.3%増の658.7億円、経常利益が同12.5%増の31.7億円と増収増益が続く見通しとなっている。

連結業績動向



銘柄紹介

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)

更新: 11時0分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	愛知県名古屋市中区葵三丁目
代表者名(生年月日)	代表執行役社長 田中英成(昭和34年10月30日生)
設立	昭和18年10月23日
資本金	17億6934万円(平成27年5月22日現在)
従業員数	新規上場会社1116人 連結会社2580人 (平成27年3月31日現在)
発行済株式数(上場時)	17,844,000株(予定)
公開株式数	公募1,500,000株 売出800,000株 (オーバーアロットメントによる売出345,000株)
想定公開規模	41.0億円~47.6億円(OA含む)
事業内容	コンタクトレンズ等の製造販売

売上高構成比率(2014/3期実績)

品目	金額	比率
コンタクトレンズ関連事業	60,988 百万円	98.0 %
その他事業	1,221 百万円	2.0 %
合計	62,209 百万円	100.0 %

幹事証券団(予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
主幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)

更新: 11時0分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位 10 位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	田中 英成	2,066,800 株	12.24 %
2	株式会社マミ	1,417,000 株	8.39 %
3	メニコン社員持株会	1,329,761 株	7.87 %
4	株式会社トヨトミ	991,000 株	5.87 %
5	塚本 香津子	707,000 株	4.18 %
6	株式会社三菱東京UFJ銀行	400,000 株	2.37 %
7	田中 康範	341,000 株	2.02 %
8	田中 淳子	329,000 株	1.95 %
9	千代田 聡子	290,000 株	1.72 %
9	田中 嘉子	290,000 株	1.72 %
9	山田 仁美	290,000 株	1.72 %
合計		8,451,561 株	50.05 %

その他情報

手取金の使途	<p>設備投資資金、及び広告宣伝費として充当する予定。 具体的には、シリコンハイドロゲル素材を用いた1日使い捨てコンタクトレンズの新製品の生産拠点として各務原工場を2015年3月に竣工しており、その建設資金に係る支払手形の決済資金として、及び同工場における1日使い捨てコンタクトレンズ用生産ライン増設及びそれに伴う工場増築のための設備投資資金として充当する予定。残額については、継続的な製品認知向上のため、インターネット広告等の広告宣伝費として充当する予定。</p>	
関係会社	<p>(株)メニコネクスト(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 Menicon SAS(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 Menicon GmbH(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 Menicon Pharma SAS(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 Menicon Holdings B.V.(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 Menicon Singapore Pte. Ltd.(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 ダブリュ・アイ・システム(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 First Glory Holdings Ltd.(連結子会社)コンタクトレンズ関連事業 上海瑞亦康生物科技有限公司(連結子会社)その他事業 上記の特定子会社のほか、連結子会社10社、持分法適用関連会社1社。</p>	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)
更新: 11時0分
株式会社フィスコ

銘柄紹介

コンタクトレンズ関連事業とその他事業を展開する。グループは、同社および連結子会社 20 社で構成される。

(1) コンタクトレンズ関連事業

コンタクトレンズ関連事業には、コンタクトレンズ分野とケア用品分野がある。コンタクトレンズ分野において、創業者が1951年に日本初の角膜コンタクトレンズを開発して以来、同社は常に新素材・新デザインの開発、製造技術の向上、生産・品質管理体制の整備を進め、業界をリードしている。現在、ハードコンタクトレンズ、ソフトコンタクトレンズに加え、成長カテゴリーである使い捨てコンタクトレンズとして1日使い捨て、2週間交換、1ヶ月交換タイプを製造・販売している。また、同社独自の特徴として、2001年4月に業界初の定額制会員システム「メルスプラン」を導入し、111万人の会員を有している(2015年4月末現在)。メルスプラン(Menicon Eye Life Support Plan)とは、入会金と定額の月会費を支払うことで、紛失・破損・度数変更時の保証などを受けられ、常に安全かつ自身の目に最適なコンタクトレンズの装用を続けることが可能になるサービスである。メニコン直営店を含む、全国1,667のメルスプランに加盟しているコンタクトレンズ店等(加盟施設)でサービスを実施している(2015年4月末現在)。加盟施設にとっては顧客へのコンタクトレンズ提供に伴い定期的な眼科受診を推奨でき、顧客の固定化、価格競争にとらわれない付加価値の提供が可能になるというメリットがある。また、2012年には関東、東日本エリアにおいて76店舗(2015年4月末現在)を有する大手量販店チェーン「エースコンタクト」を運営す

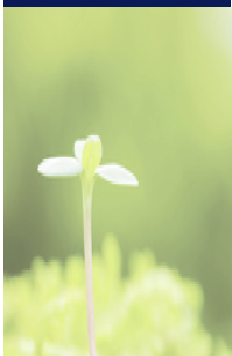
る株式会社ダブリュ・アイ・システムを買収した。首都圏でのメルスプラン会員獲得を推し進め、メニコン直営店の41店舗(2015年4月末現在)と合わせて、小売販売の事業基盤をさらに確固たるものにしていく。

成長カテゴリーである使い捨てコンタクトレンズについては、1日使い捨てコンタクトレンズ市場に本格参入するため、2011年11月に自社製造1日使い捨てコンタクトレンズ「Magic」を発売した。また、新規顧客層獲得の為に2014年7月には瞳を大きく見せるサークルレンズ、「2WEEK Menicon Rei」も発売した。

ケア用品分野では、コンタクトレンズ用ケア用品の開発、製造および販売を行っている。ケア用品とは、コンタクトレンズを洗浄、消毒、保存する液剤であり、同社グループはハードコンタクトレンズ用ケア用品とソフトコンタクトレンズ用ケア用品の両方を販売チャネルに応じた戦略を用いて市場展開している。

(2) その他事業

その他事業は、動物用医療製品等の開発、販売(動物医療事業)、稲わらの分解促進剤、家畜排泄物の堆肥化促進剤等の開発、販売(環境バイオ事業)、生殖補助医療および先端医療分野の製品開発、販売(ライフサイエンス事業)、販売店スタッフ養成スクールの運営、同社グループに対する各種総務や営繕、人材派遣等を行っている。



メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)
更新: 11時0分
株式会社フィスコ



投資のポイント

今年初の東証1部直接上場案件となる見込みだが、2014年の東証1部上場案件10社の公開価格に対する初値騰落率は平均-1.8%で、5社が公開価格割れ、3社が同値という結果となっている。ただ、同社の公開規模がこれら10社よりも小さい点は考慮する必要がある。また、知名度の高さも初値形成の支援材料となるだろう。東証1部上場案件は西武HD<9024>のように上場後の値動きが堅調な銘柄が多い点も注目される。

位置付けられる。ベンチャーキャピタル保有株は少ないものの、ファンデリー<3137>や富士ダイス<6167>といった企業が同日上場するなかでは、大型案件となる同社に初値買いは向かいにくいだろう。

売上高の98.0%を占めるコンタクトレンズ関連事業では、業界初の定額制会員システム「メルスプラン (Menicon Eye Life Support Plan)」を導入し、111万人の会員を有している(2015年4月時点)点が大きな特徴と言える。直営店を含む全国1,667のコンタクトレンズ店等でサービスが実施されている。また、動物用医療製品等の開発・販売、稲わらの分解促進剤や家畜排泄物の堆肥化促進剤等の開発・販売、生殖補助医療及び先端医療分野の製品開発・販売なども手掛けている。

業績面について、2016年3月期は売上高が前期比4.3%増の658.7億円、経常利益が同12.5%増の31.7億円と増収増益が続く見通しとなっている。事業内容としては高成長を期待しにくいものの、足元の業績は堅調に推移している。想定仮条件水準の今期予想PERは15~18倍程度で、類似企業と比較して値ごろ感がある。

公開規模については50億円弱となる見込みで、一般的なIPO案件としては大型に

銘柄紹介

メニコン [7780・100 株]

6月25日 東証・名証上場(所属部未定)

2015年6月8日(月)

更新: 11時0分

株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性がある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレーム) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会